特集 宮沢小学校 干支イルミネーション

宮沢小学校（5・6年生）と
宮沢翁塾の皆さん

翁塾の三浦義一さん

令和6年12月23日、宮沢翁塾が企画し、毎年宮沢小学校前県道沿いに設置している干支イルミネーションの点灯式が行われました。

当初は"尾花沢牛"をモチーフにして丑年からスタートしたそうです。以降、毎年継続し、巳年を迎えた今回でなんと"29年目"を迎えました。宮沢地区をはじめ、たくさんの人の心を温かく照らす作品が完成しました。

点灯式には、宮沢小学校の5・6年生11人が参加。それぞれがデザインを考えて応募し、審査の結果、今回は宮沢小学校の6年生の押切蒼乃（おしきりその）さんが考えた原画が最優秀賞に選ばれました。その原画をもとに令和7年の干支イルミネーションが制作されました。

子どもたちのカウントダウンでイルミネーションが点灯し、笑顔があふれるイベントとなりました。

干支イルミネーションは、3月末ころまで、夕方から毎日点灯される予定です。皆様もぜひご覧ください！

デザインを考えてくれた小学生の皆さんに翁塾から賞品が手渡されました。

発行責任者
議長　菅野　修一
議会だより編集委員
委員長　土屋　範晃
副委員長　畑中　和恵
委員　伊藤　浩
委員　鈴木　清
委員　和田　哲
委員　菅藤　昌己
委員　髙橋　隆雄

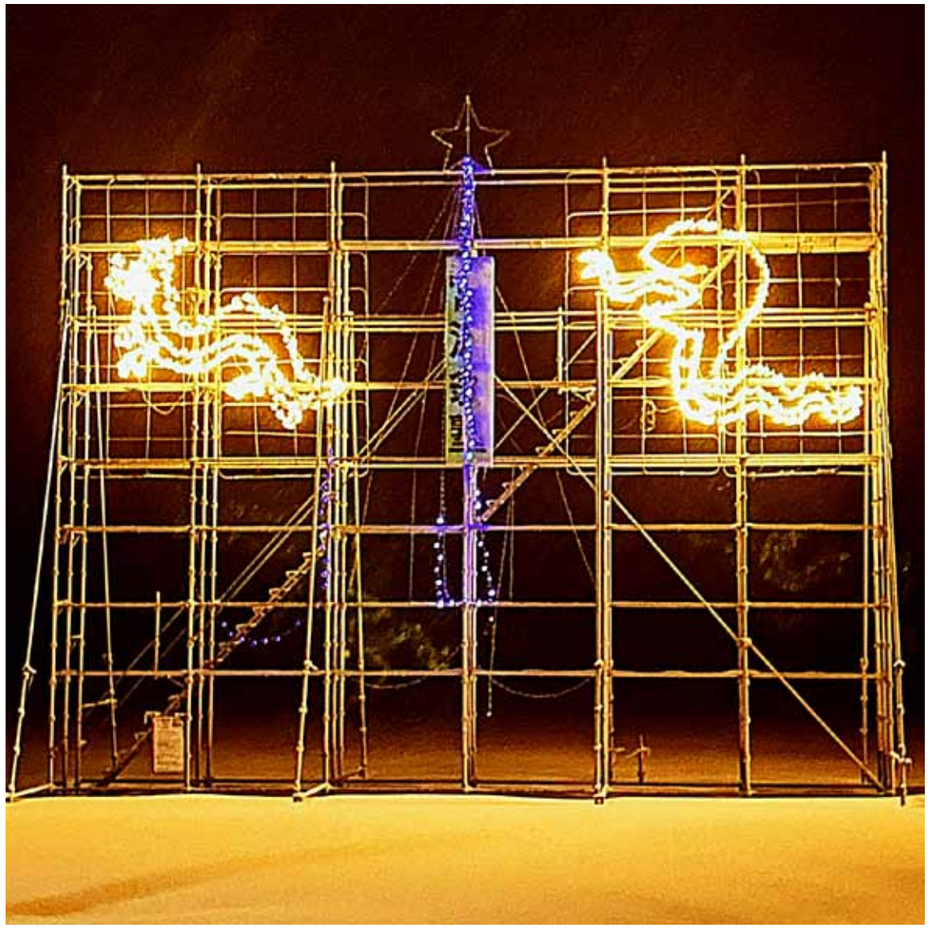
あとがき

謹賀新年。今年は巳年、困難があっても、蛇のように脱皮し成長する年にしなければと思います。

さて、ここで昨年11月の酒田市での県内13市の議会報研修会が、脱皮するヒントになるので振り返ります。気づかされたのは「読者目線」が足りないことです。ついつい「議員目線」の主観的な編集になってしまいます。「市民の知りたいに答えているか」「議会と、住民の双方向のコミュニケーションをとっているか」など学んできました。今、議会だよりは「強力なツールとしての活用時代」に進化しています。本年もスタッフ一同、誠心誠意皆様にページをめくって読んでいただけるよう努力して参ります。　〔鈴木　清〕

市議会だより Obanazawa

124
2025. 2. 1 発行


宮沢地区 干支イルミネーション

contents

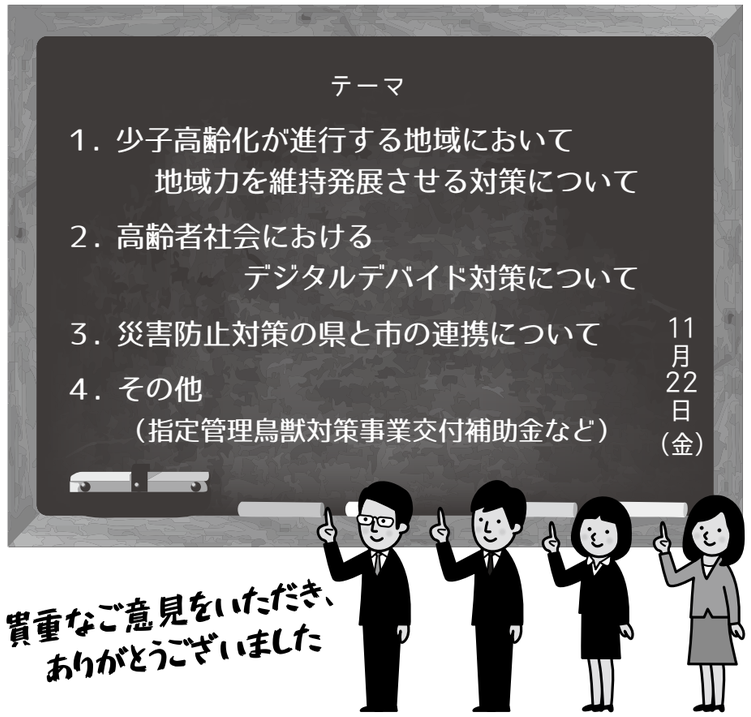
宮沢意見交換会…… 2
統合小学校造成工事について… 18

Obanazawa City Council NEWS

特集 第2回 意見交換会 in 宮沢地区

あらまし

尾花沢市議会の広報広聴委員会は、市民と自由に情報及び意見交換する場を設置し、市民の参加の推進をはかるために、11月22日に宮沢地区公民館において意見交換会を開催しました。参加者は宮沢地区区長、民生児童委員、議員を含む22人。テーマは左の黒板の通りですが、終始活発な意見がとびかい参加者の皆様から幅広い視点で意見・要望が出されました。この内容を受けて尾花沢市議会は市政に反映させていきます。



1. 主な質疑

Q 除雪券の配布方法を改善できないか。

A 民生児童委員の配布労力の軽減がはかられるよう要望していく。

Q 小屋の解体費用を補助してほしい。

A 小屋等の解体費に対する補助については国や市などに要望していく。

Q 放課後児童クラブにおいて習い事の送迎や、または時間内に英語などの習い事ができるよう検討していただきたい。

A 保護者からの意見を聴きながら、放課後児童クラブの在り方について検討されるよう引き続き要望していく。

2. テーマに対するご意見・ご要望

宮沢地区は少子高齢化が進み、まもなく小学校が閉校する。地域の存続が難しくなってきている。これまで以上に行政の支援が必要になっている。

子どもの高校入学とともに市外に転出する人が多い。電車などの定期券の助成制度があればいい。

防災アプリなどデジタル機器の操作などについて移動市役所が家々を訪問をして説明してもらいたい。

防災行政無線中島中継局が機能していないために宮沢の奥のほうまで電波が届かない状況が続いている。早急に対応していただきたい。

防災行政無線の単独放送を試したが、豪雨の中で傘をさして懐中電灯を持ってと非常に使いづらいと感じた。放送設備が公民館などの室内にあれば使いやすいのではないか。

災害の際、市と県の間でさらに連携をとって対処していただきたい。

スクールバスで中学生はバス停でしか乗り降りできず、特に冬場は暗闇の中を一人で10分ほど歩かなければならない。もう少し家の近くまで送ってもらえるようお願いしたい。

広報広聴委員のひとこと

2回目の意見交換会を宮沢地区公民館で行いました。

今回は区長さん、民生児童委員さんの参加でしたが、今後各種団体との率直な意見も交換できるような会にしていかなければと感じました。

議会のあり方や、活動についても報告することができ、引き続き市政への関心を持っていただけるよう今後の開催に向けてご意見賜れば幸いです。

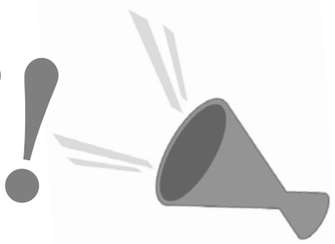
副委員長　安井　一義

皆さんの声をお聞かせください！

意見交換会ご希望の地域、団体に出向きます。議会事務局（☎22−3755）にお問い合わせください。

12月 定例会 2024

子育て支援 を拡充応援!!



定例会のあらまし

令和6年12月定例会が、11月29日から12月10日までの12日間の会期で開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の改正、名誉市民の称号を贈ることについて、人事案件が上程されました。

議第76号令和6年度尾花沢市統合小学校建設用地造成工事請負変更契約の締結については、全議員が否決し、他は可決されました。

児童手当拡充 補正 1,982万円

CHECK!!

児童手当が、第3子以降3万円、高校生年代まで延長し、所得制限を撤廃し拡充されます。

消火栓新設移設負担金 474万円

CHECK!!

新町地内2か所、朧気地内１か所の消火栓新設、朧気地内1か所の移設工事の負担金です。

債務負担行為補正

事　　項	期　間	金　額
ガバメントクラウドネットワークに係る環境構築及び保守業務委託	令和６年度から令和11年度まで	3,500万円
ガバメントクラウド接続に伴う庁内ネットワーク設定変更業務委託	令和７年度	264万円
自治体情報システム標準化に係るサーバー機器リース	令和７年度から令和12年度まで	2,558万円
第五次 LGWAN サーバー機器リース	令和７年度から令和12年度まで	1,056万円
市営路線バス運行業務委託	令和７年度	6,358万円

債務負担行為とは…

翌年度以降に自治体が金銭的負担をする場合に、その内容や限度額などを予算書に定めておくものです。つまり、債務負担行為は将来にわたる債務を負う契約を結ぶことをいいます。

提出議案

承第９号	令和６年度尾花沢市一般会計補正予算（第８号）の専決処分の承認について	原案承認
承第10号	令和６年度尾花沢市簡易水道事業会計補正予算（第２号）の専決処分の承認について	原案承認
議第64号	令和６年度尾花沢市一般会計補正予算（第９号）	原案可決
議第65号	令和６年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	原案可決
議第66号	令和６年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第67号	令和６年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第68号	令和６年度尾花沢市簡易水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決
議第69号	令和６年度尾花沢市農業集落排水事業会計補正予算（第２号）	原案可決
議第70号	尾花沢市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第71号	尾花沢市名誉市民の称号を贈ることについて	原案可決
議第72号	尾花沢市教育長の任命について	原案同意
議第73号	令和6年度尾花沢市一般会計補正予算（第10号）	原案可決（賛成８、反対５）
議第74号	尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第75号	尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第76号	令和６年度尾花沢市統合小学校建設用地造成工事請負変更契約の締結について	原案否決
議会案第３号	国民の尊厳を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出について	原案可決

補正予算の一覧

区　　分	補正額	累計年間予算
一般会計	3億535万円	170億113万円
国民健康保険（事業勘定）	6,000万円	21億5,200万円
国民健康保険（施設勘定）	346万円	4億201万円
介護保険	317万円	20億4,290万円
後期高齢者医療保険	3,138万円	2億7,600万円
簡易水道事業	1,751万円	2億4,638万円
農業集落排水事業	△174万円	7,626万円

謹賀新年

議長 菅野修一
議員一同

行動する議会で 市民と共創するふるさとへ

昨年、市民の参加推進を図るべく、市民の皆様と意見交換の場を設け、意見や要望をお聴きする活動を展開し、その声を市政に反映するよう努めています。

今年は巳年で脱皮しながら成長するへび年にあやかり、市議会も一皮二皮むけた姿で皆様の所へ出向き、行動する議会として前進していきます。

請願 第３号

全員賛成

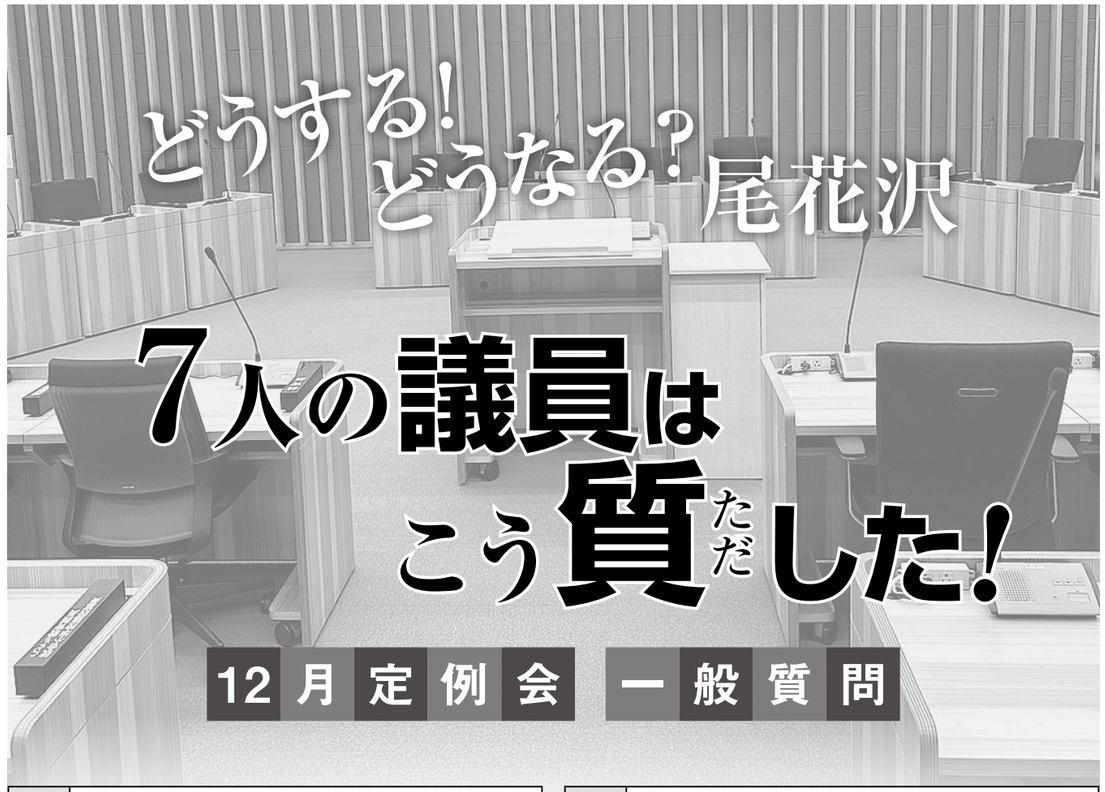
日米地位協定の抜本的改定に向けた議論を!

『国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願』

採択

請願者	沖縄を語る会呼びかけ人　菅野 真治 沖縄に応答する会@山形　代表　漆山 ひとみ
紹介議員	鈴木　清
請願要旨	日本の主権を守り、法律や規則を米軍が順守するよう、国会で早急に日米地位協定の抜本的改定の議論を進めること。

議会発議第３号…
関係機関へ意見書を提出する。



どうする! どうなる? 尾花沢

7人の議員はこう質ただした!

12月定例会　一般質問

畑中和恵	1) 移動市役所での期日前投票 2) 徳良湖自然研修センターの活用 ③ 統合小学校のスクールゾーンと安全な道路の整備
鈴木由美子	1) 催し物の実施スケジュール調整 2) 回覧広報誌の冊子化 ③ 学校給食と共同調理場
和田哲	① 花笠高原荘のありかた 2) 花笠高原スキー場の魅力と整備
土屋範晃	1) 福原工業団地における除排雪体制 ② 学校教育の実情と展望
青野隆一	① 学校統合の在り方 2) 土砂災害特別警戒区域
鈴木清	1) 生活交通としてのライドシェア構想を 2) 尾花沢市こども計画（素案） ③ 名木沢地区亜炭坑の空洞調査
菅藤昌己	1) 本市観光や特産物の宣伝 PR ② 尾花沢のスイカ振興策 3) 独り暮らし者への支援

○囲み数字は本文に掲載

畑中（はたなか） 和恵（かずえ） 議員

これからも
頑張って
いかなきゃ

問 冬季間も安全な通学路の確保を

答 子どもの目線に立って検討する

問 令和9年度開校予定の統合小学校付近の通学路の道路整備の考えを伺う。また現在でも冬季間は歩道が雪の壁に覆われて児童や歩行者の安全が危惧される。地域住民、子ども達の安全面への対応をどのように考えているか。

答 （教育長）子ども達や地域住民の安全密度を高めていくことが必要。今後も継続的に考えていかなければならない地域課題である。

問 開校に伴い市道I―26号線の交通量の増加も予測される。子どもの目線で信号機が見えるような歩道の除雪、また除雪しやすいような道路整備をしていくべきと考えるが市長のお考えを伺う。

答 （市長）周辺の交差点や見通しの悪い箇所を今後2年間かけて事前に点検し、開校以降の冬の安全確保に備える。通学路については関係機関と連携し安全点検を合同で実施し、1年を通して歩行者や車両が安全に通行できるよう維持管理に努める。

歩行者が見えない道路

問 統合小学校で食育の充実を

答 ふるさと愛の醸成に繋げる

問 「食」を通して「生きること を学ぶ」学習も大切だ。小規模校で実践してきた野菜の栽培、収穫、販売までを学べたことは貴重な体験学習である。統合小学校で実施するのか。新校舎建設の議論より市民は教育の新たな取り組みを期待している。また議会からの「地産地消」の給食推進の要望もある。地域食材の使用回数を増やすのか。

答 現時点で、これまで小規模校で実践してきた学習活動は難しい。自校給食を活かし「安心・安全な食の提供」「食育の充実」に努める。

問 現在、調理師の新規正職採用はしていないが、調理室での炊き出しなど災害対応にも備え、職員体制の充実を図れないか。

答 職員は増やさない。

問 給食提供数が減少する共同調理場の今後の運営計画は。ふるさと振興公社との協議は。

答 新たな中学校校舎建設が検討される際に再検討する。

鈴木（すずき） 由美子（ゆみこ） 議員

やれないの
ではない。
やらないのでは。

玉野小学校で栽培販売したもち米

和田（わだ） 哲（さとし） 議員

花笠高原イイところ♪
薬湯風呂は効く〜✦

問 花笠高原荘をどうしていくか

答 今後のあり方を見定めたい

問 H29年提出の提言書における現状と課題について再確認したい。特に経常収支の推移をどう捉えているか。

答 H6年度から黒字（指定管理・委託料含む）は5回のみ。

問 売上総利益と費用の推移はどうか。

答 光熱費がほぼ同額で推移し、黒字年度でも支出全体の約34％を占める。

問 H29年度以降の修繕費は。

答 花笠高原荘と御所の湯を合わせて年間約230万円を毎年支出している。

問 昨今の外部環境の変化は。

答 民間企業などによるインバウンド観光客の積極的な受入れにより、花笠高原エリア全体の活かし方が期待できる。

問 地域の声を大切にする今後の取り組みは。

答 鶴子地区との話し合いを12月に開催する予定で、今後とも受託者や住民と協力しながらエリア全体の発展に取り組みたい。

問 これからの事業の方向性は。

答 提言書提出以降の地区と花笠高原荘の関わりを検証し、現状を踏まえたあり方を見定めたい。

土屋（つちや） 範晃（のりあき） 議員

尾花沢生まれを
強みに。
教育への投資を。

問 本市英語教育の推進状況は

答 中学生95％が英検に挑戦

問 英語教育を推進する目的と取り組み状況は？

答 英語力を身に付け、英語でコミュニケーションを図ることのできる人材育成を目指している。イングリッシュ・キャンプや英会話スクール、全校へのALTの配置や大学から講師を招いた教員の指導力向上の交流会、英語検定の検定料助成などを実施している。

問 英語検定の受験状況は？

答 令和5年度の中学生の受験率は95％。準2級（高校中級程度）や2級（高卒程度）など、上位の級を受験した生徒も11人いる。小学生向けの英検ジュニアも17名が受験した。今年度も28名が申し込んでおり、児童の関心は高まっている。

問 各家庭で英検のテキストや単語集などを購入すると6〜8千円程度かかる。各学校の図書室などに蔵書されているか？

答 蔵書されている。進んで学びたい子どもが学ぶことができる環境を整えている。

英検取得は、大学受験や就職のアドバンテージ。

青野 隆一（あおの りゅういち） 議員

村山、大石田、舟形でもあるのになぜだ？

問 スクールバス車庫棟建設は

答 過疎債対象でも建設しない

校名は、全児童生徒の投票で決定し、校歌は市民公募型としてはどうか。

答 校名は、統合準備委員会で案を絞り込む協議が行われおり、校歌は、市民からフレーズなどを頂戴することも選択肢として想定している。

問 **本市の特色ある教育の一つとして、すべての児童生徒が花笠踊りを踊り、みんなが俳句を作れる小中学校を目指す考えはないか。**

答 統合後も、『ふるさと愛の醸成』の実現に向け、『花笠踊り』と『俳句』に触れる機会の充実は、学校教育だけではなくさまざまな場面で継承されていくと考える。

問 **学区外通学の要件や手続きを公表し、寛容な対応をすべきと考える。**

答 至急公表し、丁寧に対応したい。

問 **福原中学校の子どもたちや保護者が、不安なく統合できるよう率直な声を聴くべきではないか。**

答 さまざまな意見を丁寧に聞いて、対応できるものに対しては十分に対応していきたい。

建設が進む統合小学校

問 亜炭鉱の空洞調査を行ってはどうか

答 調査方法や費用を国・県へ相談したい

問 **豪雨水害により名木沢（特に西野々）地区では、田畑の陥没やがけ崩れが多発しているが、亜炭鉱との因果関係がないか。過去何箇所、その事例があったか。**

答 過去10年間で亜炭鉱害の認定を受け、亜炭鉱害復旧事業を活用した事例は、全て西野々地区で6件あった。

問 **空洞調査を行い、危険度を調べてはどうか。**

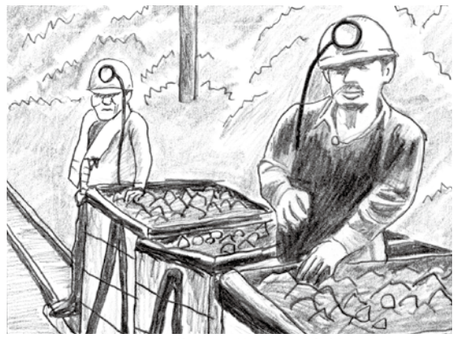
答 まずは豪雨の際に発災した土砂崩れが亜炭鉱と因果関係があるか確認したい。空洞調査は調査方法・費用について、国や県へ相談したい。

問 **亜炭廃坑による陥没が、鉱害と認定されれば、国・県による復旧工事が行われるのか。**

答 亜炭鉱害の復旧事業は、市が実施主体となり、事業者の50％が国費、50％が県費として基金に積み立てされた後、同基金より補助金として82％、残り18％を市が負担することになっている。

鈴木（すずき） 清（きよし） 議員

陷没の相談には温かい対応をお願いします。



昭和40年代まで栄えた亜炭鉱

菅藤 昌己（かんとう まさき） 議員

『台所は薬局である』調理する人は薬剤師でもある

問 スイカ条例の制定とモニュメントの作成は

答 市民が元気になるよう他市を調査し検討する

問 **庁舎前にスイカや牛をPRするモニュメントやPR看板の設置。また、市民みんなで産地振興をはかるために、スイカの理念条例を制定しては如何か。また、夏場の労働力の確保について伺う。**

答 本市は、豪雪地帯であり、冬期間の維持管理、モニュメントの設置場所など課題がある。山形県屋外広告条例など踏まえ、市民が元気になる存在になるよう検討する必要がある。

スイカの理念条例については、他産地の条例を調査研究し、関係者のご意見を踏まえて、条例の効果や必要性を検討していく。労働力の確保については、「尾花沢市儲かる農業支援事業」のなかで、シルバー人材センターへ助成メニューがある。また、希望者のマッチングを行う「やまがた農業ぷちワーク」の取り組みや農福連携の取り組みもおこなっており、様々な分野から労働力の確保につとめていく。

傍聴者の声

傍聴に来た方の感想

みんなが「初めて議会の様子を見れて本当によかった！」と言っています。これは、議会があらゆる市民の関心を、希望を、期待を背負っている証だ。

移動市役所は、市民もおおいに期待しています。

学校統合に関して、校歌・校名など、市民全体で考えていただけるのがうれしい！

高齢者の移動手段について考えていただけるのは希望です。

今年度の出生数が約30名の予想。子ども達に少しでも良い環境を。

議会前に質問者の日程と内容が分かれば、興味ある課題を傍聴したい。

（回答）ＨＰ、地区公民館、悠美館、市民サロンにあるのでご覧ください。

議員の皆さんには、市民の意見を定期的に聞き取れる場や機会をもうけて、その全体の意見を議会で発表し、市政に反映させてもらいたい。

（回答）意見交換会についてぜひお問い合わせください。

傍聴人数

日付	人数（人）
12/ 5	２４
12/ 6	２５
12/10	１
合 計	５０

※アンケート回答：20人

総務文教常任委員会

災害を風化させない不断の取り組み

衛生面に配慮！
災害物資の備蓄状況を見学

【視察の概要】
総務文教常任委員会は、令和6年5月23日～24日、広島県安芸郡府中町、熊野町、坂町の防災対策の取り組みについて行政視察を実施しました。

平成30年7月豪雨災害と被災後の取り組み（府中町）
府中町では平成30年7月豪雨により、町内の各所でがけ崩れや宅地が崩壊する等の被害が発生した。
本来、個人所有の土地は所有者の負担で管理されるものだが、早急な復旧のため町独自の被災斜面復旧事業を実施している。

熊野東防災交流センター（熊野町）
熊野町は町内を3つに分け、それぞれに防災拠点施設を整備している。今回は、そのうち「熊野東防災交流センター」を視察した。
避難所施設であると同時に災害物資の備蓄拠点としても機能を持たせ、乳幼児世代、ペット同行避難、長期避難に備えた衛生面にも配慮している。

ペットの同行避難（坂町）
坂町は町民向けに配布する案内において、各避難所のペット避難の可否について明確に表記している。
また、避難時の留意点については、環境省が公表する「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」の抜粋を掲載している。

【所感】委員長　和田　哲
「まさか、夢にも思わなかった…」
この言葉をすべての視察先でお聞きし、深く心に残りました。
今回の視察で得た成果を、尾花沢市の防災対策に確実に結びつけられるよう、行政および関係機関等と協力しながら今後も調査を継続していきます。

産業厚生常任委員会

スイカのまち同士の交流を

ポストまでスイカ！

市長にエールを送っていただいた富里市

【視察の概要】
産業厚生常任委員会は、令和6年10月21日～23日までの間、千葉県の木更津市、富里市、八街市及び館山市の4市において行政視察を実施しました。

木更津市　「きさらづ健康アプリ『らづFit』の取組」
民間が主導するアクアコインと連携して、スマホにある歩数計アプリによりポイントを付与し、後日還元する仕組みを学びました。

富里市　『富里スイカ』ブランド化のための取組」
学んだこと
①富里市すいか条例の制定
②スイカ生産支援
③新規就農者確保の取組
④有害鳥獣からの農産物被害防止対策への支援
⑤後継者育成の取組
⑥軽トラ楽市

八街市　「新規就農者に対する支援」
学んだこと
①農業支援センターの設立経緯と事業内容
②農業インターンシップ事業

館山市　館山ジビエセンター『食のまちづくり推進』
学んだこと
①食のまちづくり
②館山ジビエセンターの設立と取組内容
③館山有害鳥獣処理施設

【所感】委員長　菅野喜昭
視察の冒頭富里市長からご挨拶があり、兄弟、姉妹都市を締結し、すいかの生産・ブランド化についての言及がありました。富里市としても、生産・ブランド化について色々と工夫がなされています。ぜひ、当市としても、姉妹都市締結を実施し、お互いに切磋琢磨しさらなるブランド化を推進していただきたい。

議会運営委員会

議会基本条例の検証について

視察の様子
（由利本荘市議会）

【視察の概要】
議会運営委員会は、令和6年7月17日～18日、秋田県横手市、秋田県由利本荘市の行政視察を実施しました。

議会基本条例の検証
横手市議会基本条例は、平成24年6月に制定され、平成29年3月に1回目の検証を皮切りに令和3年6月に4回目の検証結果を議会改革推進会議委員長より議長に提出し、本会議において委員長による報告がなされている。
由利本荘市議会基本条例は、平成25年6月に制定され、令和5年3月に一部改正を行っている。

検証サイクル
横手市議会は、2年毎に委員会の改選が行われることから2年間の議会改革推進会議（月1回程度開催）において検証を行い、議会だより、ホームページ、FM「教えて！横手市議会」にて公開している。
由利本荘市議会の検証の実施時期は、構成替え又は改選前までに検証作業とその結果を公表するものとしている。

評価基準の設定
横手市議会は、検証方法については、「議会基本条例に基づく活動評価チェックシート」を作成し、実績の洗い出しと課題の抽出し、採点による評価を行っている。
由利本荘市議会は、「達成状況検証表」により4段階で評価。
（左記のとおり）
A：十分できている
B：概ねできている
C：不十分である
D：できていない
―：検証対象外

【所感】委員長　星川　薫
本市議会も何をもって評価するのか。誰が評価するのかなど様々な課題を見つけられたことは学びが多かった。本市議会基本条例の条文には検証や評価が無いだけに、議会改革推進会議において今回の行政視察の成果を報告するものとし、数年かけて視察を行い、本市議会のあるべき姿を見つけていきたい。

議会だより編集委員会

住民の声、斬新企画、レイアウト

表紙の写真は毎回熱い議論を交わされているとのこと！

出迎えから見送りまで丁寧な対応に恐縮しました。

【視察の概要】
デザインやレイアウトに優れ、特色のある企画と共に町民の声を数多く掲載している2自治体の議会だよりについて調査しました。先進事例の研修のほか、意見交換や本市議会だよりのクリニックも実施していただきました。

栃木県那須町「議員コラム」
議員を紹介する企画「議員コラム」を取材。改選によって、13名中7名が2期目、1期目が6名という構成になり、議員のことを町民に知ってもらおうと実施した。好評企画であったが、全議員の紹介を終えて終了した。

栃木県高根沢町「カフェ・ド・ギカイ」
カフェでお茶をするような雰囲気を目指して開催するようになった議会報告会。テーマや開催方法は、広聴特別委員会で検討。年4回の開催で様々な団体との意見交換をしており、その様子を議会だよりに掲載している。

【所感】委員長　土屋範晃
「視察を受け入れていただいた2自治体に心より感謝申し上げます。住民の声の掲載や2色刷り印刷、Web版のカラー掲載など、今後取り入れたい点が多数ありました。本市の編集方針策定のほか、改善できる点は取り入れていきます。

広域組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

令和6年12月19日に臨時会を開催し、人事院勧告に伴う給与費の増額等の補正予算を可決した。

また、北村山教育賞・北村山教育奨励賞表彰式が開催され、芸術・スポーツで活躍された本市の個人・団体が左記のとおり表彰された。

【北村山教育賞】

石山　楓（いしやま かえで）さん
髙橋　亜珠（たかはしあみ）さん

【北村山教育奨励賞】

尾花沢市立尾花沢中学校
男子ハンドボール部

市長の隣から　石山楓さん、髙橋亜珠さんのご家族、尾中ハンド部の三浦海輝さん、奥山圭介さん

北村山公立病院組合議会

5議案可決・同意

1　北村山公立病院組合議会は、第3回定例会を12月24日に東根市議場で開催し、2024年度事業会計補正予算や人事案件及び病院一般職の給与条例改正など5議案を原案通り可決・同意し、閉会した。

2　概　要

(1)　事業会計補正予算

患者数増などにより、病院事業収益は5217万円増の52億5641万円、事業費用は3172万円増の59億677万円に補正した。

(2)　人事案件

任期満了に伴う人事案では、組合監査委員に古瀬忠昭氏（71）＝村山市楯岡晦日町＝を再任することに同意した。任期は4年。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

10月24日、組合議場にて10月定例会を開催し、令和5年度組合一般会計歳入歳出決算の認定ほか、決算認定議案4案件、剰余金の処分議案2案件、および令和6年度補正予算3案件を慎重な審議を経て、全議案を可決した。

11月22日、組合議場にて11月臨時会を開催し、欠員による議席の指定及び水道事業会計補正予算の審議を行い可決した。

【斎場白菊苑トイレ改修工事】（一般会計補正予算）

全面的な改修を実施する為、便器、手洗器の更新の他、床・壁タイル、電気設備等の更新を行う。また、施工期間は仮設トイレを設置し対応する。改修項目ごとに係る費用の概算は下表のとおり。

	改修項目	改修費用（概算）
①	大小各便器の更新及び子供用トイレの設置	407 万円
②	手洗器の更新（手洗い、洗剤、乾燥機能付き）	286 万円
③	床下等の配管改修（漏水リスクの軽減の為）	77 万円
④	床、壁タイル及び、天井壁紙の更新	616 万円
⑤	その他設備の改修（電気設備、追加設備）	418 万円
⑥	工事期間中における仮設トイレ設置	154 万円
⑦	その他諸経費等	363 万円
合　計		2,321 万円

これからの議会の予定表

2月の予定

- **5日（水）** 令和7年 新春林政講演会
- **19日（水）** 議会運営委員会 会派会合 全員協議会（3月定例会前）
- **20日（木）** 一般質問通告締切
- **28日（金）** 本会議（開会）

3月の予定

- **3日（月）** 総務文教常任委員会
- **4日（火）** 産業厚生常任委員会
- **5日（水）** 休会（事務整理日）
- **6日（木）** 本会議（一般質問）
- **7日（金）** 本会議（一般質問） 予算特別委員会
- **10日（月）** 予算特別委員会（総括質疑）
- **11日（火）** 予算特別委員会（総括質疑・分科会）
- **12日（水）** 予算特別委員会（分科会）
- **13日（木）** 予算特別委員会（分科会）
- **14日（金）** 予算特別委員会（分科会）
- **17日（木）** 休会（事務整理日） 環境衛生事業組合議会 議会運営委員会 環境衛生事業組合議会 全員協議会
- **18日（金）** 予算特別委員会（分科会委員長報告） 本会議（常任委員長報告） 議会運営委員会 北村山公立病院組合議会議会運営委員会
- **19日（水）** 本会議（閉会）
- **21日（金）** 環境衛生事業組合議会 3月定例会 北村山広域行政事務組合議会議会運営委員会
- **26日（水）** 北村山広域行政事務組合議会議会運営委員会 北村山広域行政事務組合議会定例会
- **27日（木）** 北村山公立病院組合議会全員協議会 北村山公立病院組合議会第1回定例会

議会だより改革!!

令和5年7月の改選に伴い、議会だより編集委員会が新体制となってから、今回で6号目の発行となりました。議会の出来事や推しの議員の活動を皆さんに分かりやすくお伝えし、楽しみながら読んでいただけるような議会だよりを目指して作成しています。発行までの編集委員の活動や、これまでに行ってきた取り組み、今後の目標などを紹介します。

7名の委員、一人ひとりが一生懸命作成しています!

議会だよりの発行スケジュール!

定例会（3月・6月・9月・12月）初日

↓

第1回編集委員会（企画会議）の開催

何を特集するか？　誰がどのページを担当するか？
委員会をいつ開催するか？　改善点などを協議します。

定例会（3月・6月・9月・12月）終了

↓

第2回～4回編集委員会の開催

一般質問や議案等のまとめと記事作成、
特集記事の取材や編集・校正等を行います。

完成・発行（5月・8月・11月・2月）

約1か月で作成します!!

一般質問のレイアウト改革！

（新）

（旧）

R6.11.7に開催された
山形県市議会議長会
議会報研修会において、
“一般質問の要素、
情報の密度”が
13市中No.1の
評価をいただきました!!

視察で学んだ「Z方式の視線誘導レイアウト」を取り入れ、第120号から変更しました。議員が向かい合う写真配置への変更や見出しを縦と横に分けるなど、視線誘導のしやすさを追求しました。また、“議員のつぶやき”も加え議員の思いが伝わる工夫を施しました。

これからの取り組み！

1. 編集方針の作成

誰もが読みやすい文字やレイアウトを追求し、どの号・どのページでも質が守られるように本市議会だよりの編集方針作成を目指します！

2. 市民参加の強化

市民の方を積極的に取材し、皆さんの意見や関心を反映した議会だよりとなるように、双方向のコミュニケーション強化を図ります！

3. 独創的な企画

独創的な企画をつくり、皆さんが楽しみながら、市議会の取り組みを知っていただけるような議会だよりを目指します！

今後も改善を続け、より良い議会だよりを作成していきます!!

12月10日、大類好彦議員から「議会の軽視も甚だしい!!」と口火が切られ、全議員が議案に否決する事態となった。

統合小学校建設用地造成工事 12月10日定例会 全議員が反対

〝工期経過後〟に議会へ説明

12月2日、総務文教常任委員会において、造成工事の変更契約案が示された。当初の工期は11月29日までとなっており、工期が経過した後での説明となった。

変更の理由は、国交省から無償提供を受ける予定の盛土材が不適な材料と判断されたことから不足し、購入する必要が生じたため。また、7月の豪雨災害によって搬入に遅れが生じ、工期の延長が必要というものであった。約1億円の増額と、12月20日まで工期延長を求める内容であった。

生じた様々な疑義

当局からの説明を受けて、議員からは、「国交省から提供される盛土材の量は、契約前に把握できたのではないか?」、「不足が判明したのはいつか?」、「なぜ、当初の契約期間が満了したこの時期に議会への説明となったのか?」、「これから購入や工事が可能なのか?」など、様々な意見が出された。同時に、当局からの説明を受けて、疑義が生じることとなった。

議第76号（当局による変更理由）

【契約金額】

変更前	2億570万円
変更後	3億284万円

国交省から無償提供を受ける予定の盛土材約4万㎥について、約1万6千㎥にとどまったため、不足分を購入することとした。

契約前に把握可能では?

【工期】

変更前	～11月29日
変更後	～12月20日

豪雨災害により、国交省の盛土材の搬入が遅れた。

工事はすでに完了しているのでは?

“つじつまが合わない。納得いく事業遂行を”反対討論の要旨

①	国交省から本市へ提供可能な数量は、当初契約より前の段階で把握することが可能ではないか？
②	10日間で、約3,500台のダンプを手配し、盛土材の購入と敷きならし工事の実施は不可能ではないか？
③	採石業者から、８～10月までに盛土材を現場に納品済との証言がある。すでに盛土材の購入が行われ、敷きならしが完了しているのではないか？
④	当局の説明に食い違いがある。国や県の検査で指摘されると、将来の財政運営に大きな支障をきたしかねない。食い違う点の調査が必要ではないか？

反対討論を行った土屋議員

➡ 議員の“全会一致”によって、議案は否決となった。

真相解明を求めて

12月12日、全会一致による議案の否決を受けて、今後の当局への対応について協議するために、会派代表者会議が開催された。当局に対する資料請求や、事前の質問事項の取りまとめを行うこととし、各会派による会合の開催へとつながった。

全員協議会の開催

12月20日、全員協議会が開催され、当局から議案を再上程したい旨の説明が行われた。「これから盛土材を購入し、工事する」と議会に説明されていた内容については、「実際には、当局の指示によって盛土材の購入と工事が進められていた」と訂正された。議員からは、「国交省から提供される盛土材が不足した時点で、なぜ議会に説明がなかったのか?」という意見や、「国交省が提供可能と判断した盛土材について、なぜ工事に使えないと判断したのか?」、「7月29日付の工事協議書に、7月30日付の検査書類が添付されていることはおかしい」、「一連の混乱を招いたことについて、再発防止策や、何らかの〝けじめ〟をとる必要があるのではないか?」などの意見が発せられた。

そして臨時会へ

12月25日、臨時会が開催され、否決となった議案が再上程された。市長より、議会に対する説明が不足していた旨の謝罪があったものの、職員の処分に関する規定に抵触するような不手際はなく、事務の進め方には何ら問題がなかったとする説明も行われた。

しかし、これまでに当局による答弁が二転三転していることや、当日も前回の説明から覆った答弁が行われたことで議会が中断する事態も招かれた。採決の結果、賛成多数となり、一転して当該議案は承認された。

臨時会における採決の結果

青野　隆一	高橋　隆雄	伊藤　浩	安井　一義	鈴木由美子	菅野　喜昭	土屋　範晃	和田　哲	鈴木　清	星川　薫	菅藤　昌己	大類　好彦	畑中　和恵	菅野　修一
×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	※議長につき、賛否に加わらない。

賛成「○」、反対「×」